

# JIMMY CLIF IS!!

最後のレジェスター、ジミー・クリフのライブを観てきました。御年70歳の彼は、体の不調(?)をきりきりせず、約2時間オーバー、20曲近くのステージを見せられました。25年前のルーヴル、彼のライブに行った時は、花びら散らばるステージ上を駆け回り、あの映像で見てここがこれといったボラマレーの流さしはうらやま、まさにレジェスターのショータイム!!という感じでした。今回のプロモで迎えたジミー・クリフは、想像をはるかに越えた華弱った姿で登場しました。うちのオヤジ83才と比べると、比べにならないくらい、ヨクヨクな感じでした。90分ですが、どこか不調があるのかなという感じで、少し、ショックを受けたのも束の間、唄い出すやいなや、声や声量は、20代のアルバムのほらっさせ、伸びのあるしゃがみ声で、感動の嵐でした。しかも、こんなにヒット曲があるんだという位一時代を築いた歴史も肌で感じるすばらしい勇気をもつステージでした。一貫して、平和なメロディソングや新しいうたでした。今年中子になる息子と一緒に行ったんですが、彼は、今、マーチングバンド部、バッテリー、スネア担当のジミー・クリフの今回のツアーバンドのドラマーに打ちたれた様で、いたく興奮していました。ライブ後、馬車に向かう道すがら、"1911も70才になったら、バンド組んど、ギターも持たせうたいたいなあ"と言った。"じゃあ、オレ、ドラムやるよ"という息子の力強い言葉を頂戴。シメシメ、と見い、改めて、ジミー・クリフ、レジェスという言葉に感謝したい一日だったと思います。